

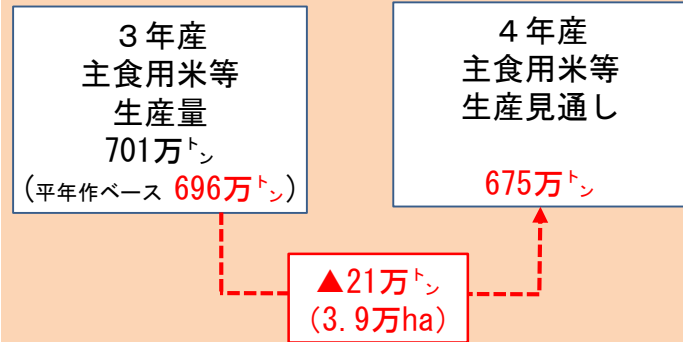
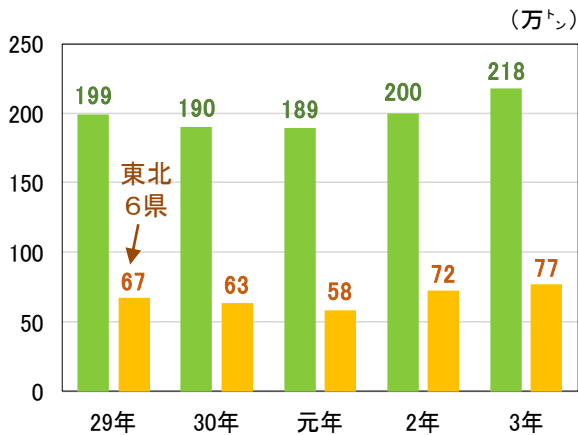
令和4年産では、令和3年産の取組から、 さらに▲21万ト(▲3.9万ha)の作付転換が必要です。

- 米の需要減が続く中、コロナの影響もあって令和3年6月末の民間在庫量が**高い水準**となっています。
- このため、令和4年産の主食用米について、生産量は675万トと見通され、**需給と価格の安定を図るには21万ト、3.9万ha相当の作付転換が必要**との見通しが示されました。

【6月末民間在庫量】

【米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針】

(11月19日公表)



4年産に向けては、より**定着性・収益性の高い作物**への 転換をご検討ください。

- 3年産では、6.3万haという過去最大規模の作付転換が行われましたが、**作付転換の大部分が飼料用米により実施**されました。
- 主食用米の消費減少が続く中、**麦・大豆や野菜、子実用とうもろこしなどの定着性や収益性が高く需要のある品目への転換**をご検討ください。

【令和3年産における作付転換の状況】

(万ha)

	主食用米	備蓄米	戦略作物等							
			加工用米	新規需要米				麦	大豆	その他
				飼料用米	WCS用稲	米粉用米	新市場開拓用米(輸出用米等)			
2年産	136.6	3.7	4.5	7.1	4.3	0.6	0.6	9.8	8.5	10.2
	▲6.3		+0.2	+4.5	+0.1	+0.1	+0.1	+0.4	0	0
3年産	130.3	3.6	4.8	11.6	4.4	0.8	0.7	10.2	8.5	10.2

この資料に関するご意見、ご要望等がございましたら、ご遠慮なく右記連絡先あてご連絡ください。

ご連絡先 : 東北農政局 青森県拠点
担当 : 笹木、木村、外崎、米村
TEL : 017-777-3512
メール : seitoshi_sasaki980@maff.go.jp